

# 楽学喜



放送大学  
福井学習センター



四方を山々に囲まれた大野盆地。

越前大野城は、大野市の中心部にある

亀山（標高：249m）にそびえる平山城です。

天空の城 越前大野城（大野市）

【写真提供】写真サークル「フォト倶楽部」



麓には城下町が広がり、

この城下町が雲海に包まれ

亀山だけが浮かんで見える日に

「天空の城 越前大野城」が現れます。

雲海は、気象条件がそろわないと出現しない希少な現象です。

この撮影の前日には雨が降り、当日は快晴という条件で幻想的な城が現れました。



## 目 次

P.1..... 巻頭言

P.2～3..... 卒業生からのメッセージ

P.4..... 編集サークル記事

P.5..... 福井学習センター在学者状況

P.6..... 単位認定試験について

P.7..... 次学期の出願・科目登録手続きについて

P.8..... 2026年度第1学期面接授業について

P.9..... 事務室からのお知らせ

P.10..... 面接授業レポート

P.11～12... 公開講演会・シンポジウムレポート

P.13..... 令和7年度学生研修旅行

P.14..... 1～3月のスケジュール



## 楽しくも面倒な（？）学問

白川 晋太郎

福井学習センター 客員教員

福井大学学術研究院教育・人文社会系部門 講師

哲学を専門としていると「哲学は何のためにあるのか、どんな意味があるのか」と聞かれることがある。科学の基礎になっているとか、新しい価値を創造するとか、それらしい答えをいくつか用意しているが、本当のところは、あまり意味など考えずただ単にやっている。

福井学習センターではそんな質問が出ない。学生さん自身が、ただ楽しいから学問をやっているからだろう。「何のために」という問いは、往々にしてそれ自体に意味が感じられないときに生じる。何かのための手段としてではなく、純粹に目的として学問ができていることは本当に素晴らしいことだ。

定期的を実施している哲学の学習会では、各自の担当回でまとまった原稿を準備するなど負担が大きい。傍から見れば、こんな「面倒」なことを単位も出ないのになぜやるのか（それも休日に）と不思議に思われるかもしれない。

そこに参加しているメンバーともよく話すことだが、多くの仕事が自動化され、知的作業の大部分も AI に任せられる時代に私たちには何が残されているのか。もしかすると哲学は残るかもしれない。切実な問題を、答えの出ない状況に耐えながら考え続け、心から納得のいく答えを見つける。人と話し、議論する。批判され、考えを改める。AI に尋ねれば、それらしい答えが数秒で返ってくるけれど、なぜか虚しさが伴う。どうやら人は生身の人間が時間をかけ苦勞した考えでないと満足できないようになっているようだ。

私の研究テーマの一つは「面倒」である。面倒とは何か、なぜ面倒というものがあるのか、面倒とどう向き合えばよいのか。正直な話、答えの出ない問題を延々と考え続けるのはかなり面倒だ。他人の複雑な考えをしっかりと理解することも、苦勞して文章を書くことも、わざわざ時間をとって集まり話し合うことも実は面倒である。

けれども、面倒に囲まれながら生活することは、とても喜ばしい人間的な生き方なのだと思うようになった。先の AI ではないが、面倒を排除していけば残されるのは虚しさのみ。面倒であればあるほど、その先に得られる達成感や充足感も大きい。面倒こそが人生に意味を与えてくれる。今では「実に面倒だ。だからこそ引き受けよう」という気持ちになっている。

皆さんも勉学を続けていれば時に面倒に感じることもあるかもしれないが、だからこそ、そのまま突き進んでほしい。

2025 年度  
Ⅰ 学期

# ご卒業おめでとうございます

福井学習センターから10名の方が卒業されました。

心からお喜び申し上げます。

## 教養学部 卒業生

### 心理と教育コース

木村 光之介  
千葉 司  
吉田 雅史

### 人間と文化コース

野村 佳紀

### 情報コース

辻野 武士  
前田 容蔵

### 社会と産業コース

伊藤 由美  
服部 悟  
森 風瑞菜

### 自然と環境コース

1 名



2025 年度第Ⅰ学期学位記授与式 (2025. 9. 28)



は福井学習センター学生表彰対象者に選考された方です。

所長から表彰状と記念品が贈呈されました。

※ご本人の同意をいただいた方について、氏名を記載させていただいております。(敬称略・専攻、コース別五十音順)

## 卒業生 からの メッセージ

### ご卒業おめでとうございます。

編集サークルから卒業生の皆様全員に“卒業にあたっての一言”をお願いしました。その内容について、“喜び・抱負等”に加えて、在学生に向けてのお言葉として“お勧めの科目名とその理由”及び“勉強する上での工夫”についても併せてお願いしました。今回お寄せいただいた全ての方のメッセージを掲載しました。大変参考となるメッセージをいただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。なお、一部のメッセージを調整させていただきましたことにご了承をお願いします。(掲載 順不同)

千葉 司 さん

年齢を重ねてからの学びは、一つ一つが新鮮で充実したものでした。

勉強したことを YouTube に up することで学びを深められました。

「心理学」はお勧めの科目が多く、基礎である「心理学概論」は心理学の入り口に入れたようで、嬉しかったし楽しかったです。

野村 佳紀 さん

学部生として 17 年間、ここで学び続けてきました。

今回で 6 コース中 5 つ目の卒業となります。残る 1 コースも、引き続き楽しく学び、喜びを感じながら取り組んでいきたいと思います。

これからも、どうぞよろしく！！



**前田 容蔵 さん**

学び直しを目的に社会に出て、ひと段落ついてコロナ禍の時間活用として放送大学に入学しました。

社会で経験したことが、興味を持って学習できました。

自由に履修科目を設定できるので、経験のある科目を選ぶのがお勧めです。

**森 岡瑞菜 さん**

自分のペースで学びを深めたいと思い、放送大学に入学しました。

早 4 年が経ち、家族や周りの方に支えられながら、無事卒業を迎えることが出来ました。

今後も日々の学びを大切に、一步步成長していく所存です。

ありがとうございました。

**服部 悟 さん**

思いもよらぬ異国の人との出会いが、私の人生の転換となりました。

私に放送大学の門を叩かせてくれたのは、中国から福井大学への留学生でした。

他国へ来て勉学する姿、高齢で受講する私への励ましが卒業の大きな力になりました。

**伊藤 由美 さん**

学び始めて10年目。こんなに続けられるとは思っていなかった。

周りの方や福井学習センターの方々に助けられている。

ある方の言葉で、「学びは究極の遊び。」「間違いなく趣味であること。」

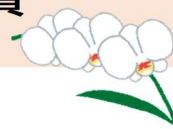
この言葉を励みに面白がって学びを継続したいと思う。



## トピックス

# 全科履修生「人間と文化コース」に在学中の 村尾敬治さん「総務大臣表彰」を受賞

受賞に関する記事が福井新聞と日刊県民福井に掲載されました



編集サークルでは、学生の皆さんに  
知っていただきたく、村尾さんに直接  
お話をお聞きし記事にまとめました。  
ご一読いただければ幸いです。

## おめでとうございます



放送大学福井学習センター所属で全科履修生（人間と文化コース）の村尾敬治さんが、行政相談委員として長年の顕著な功績が認められ、9月に東京都内で「総務大臣表彰」を受賞されました。

行政相談委員は総務大臣から委嘱された民間有識者で、行政全般に関する市民の苦情や相談を受け付け、相談者への助言や関係機関への改善申し込みを行う無報酬のボランティアです。現在県内には計45人、福井市では7人が委嘱されていますが、今回表彰されたのは村尾さんのみです。

村尾さんは、歴任した行政経験を生かし、2013年に委嘱されてから12年にわたり活動をされてきました。現在では、毎月、市内のショッピングセンターで相談所を開設されています。

10月20日に福井市役所で西行茂市長らに喜びを報告され、「困った人の話を聞くと、安心して帰る人がほとんど。少しでも役に立てればという思いで続けている。もうちょっとがんばってみたい」と意欲を新たにされています。また、「このような活動のためにも放送大学において、面接授業での出会いや体験、さらには貴重な参考図書の貸出提供を受けながら幅広い学びを続けていることは、多様で多角的な視点を持った活動を継続することに繋がっている」と、放送大学での学びを活かしながら活動に励まれていることを優しい表情で語ってくれました。



### 【村尾敬治さんのプロフィール】

地元の小学校・中学校を、昭和42年福井商業高等学校を、そして大学を卒業後、昭和47年福井市役所に入所、市企業管理者、総務部長及び特別職を歴任、39年の長きに亘り地方行政に携われました。市役所を退職後は、行政相談委員に委嘱され現在に至っています。また、更に知識等修得等のため、平成28年4月に放送大学全科履修生として入学され、現在も学びを続けておられます。

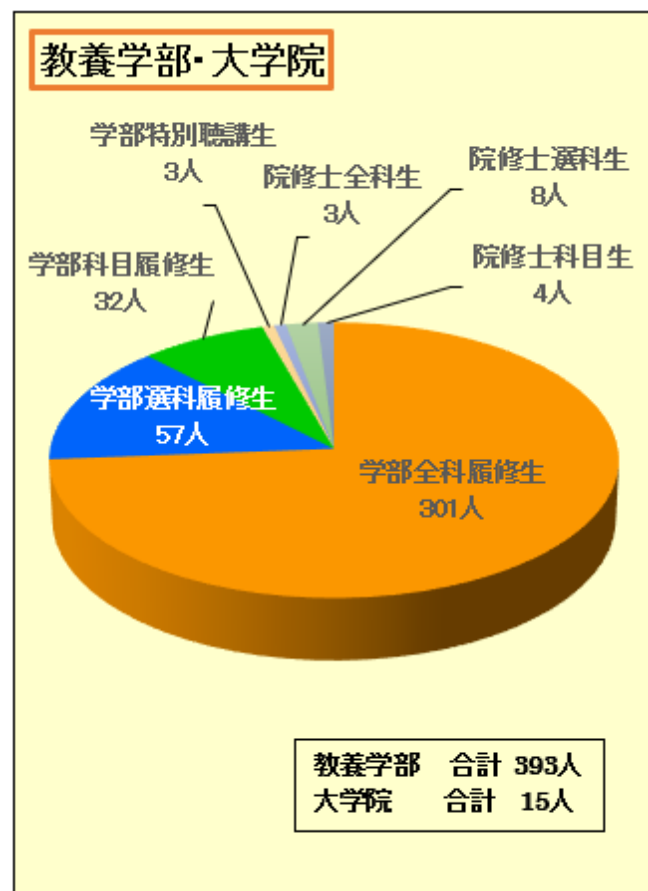


長年にわたり行政相談員として地域に寄り添い続けてこられた村尾さんの歩みが、今回の総務大臣表彰という形で評価されたことを、編集サークルとしても大変うれしく思います。忙しい毎日の中でも学びを続ける姿は、私たちにとっても大きな刺激です。これからのさらなるご活躍を、心よりお祈りいたします。

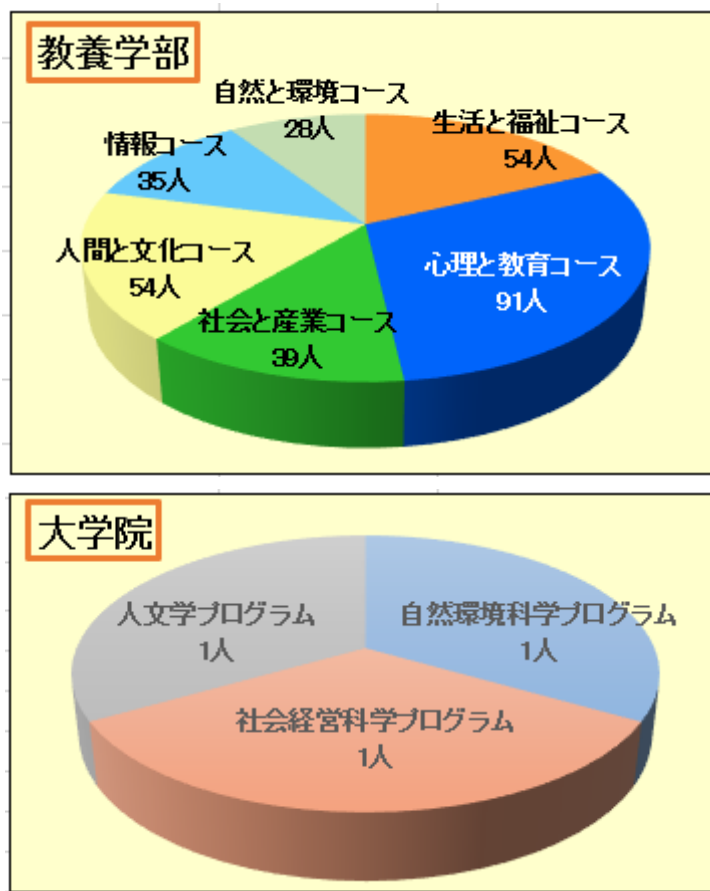
# 2025年度第2学期 福井学習センター在学者状況

令和7年11月1日現在

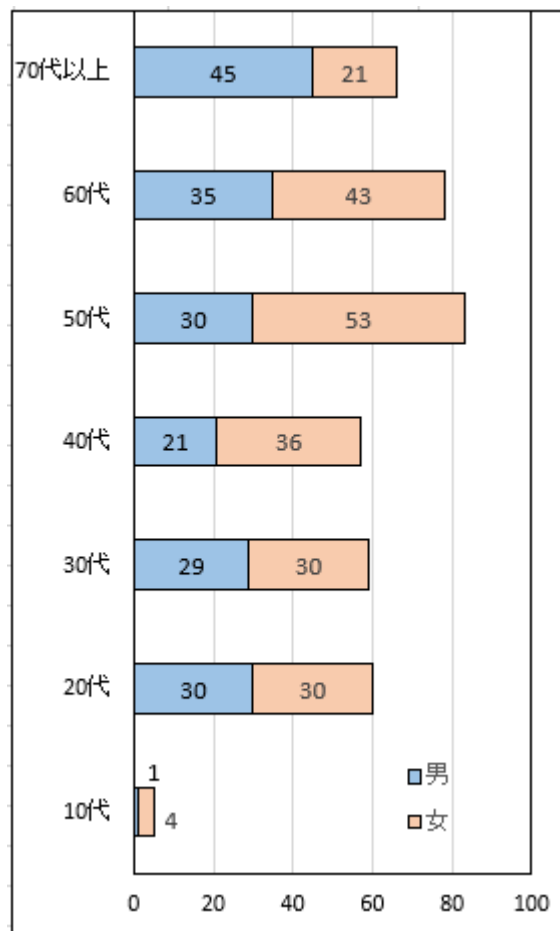
## ■学生種別人数



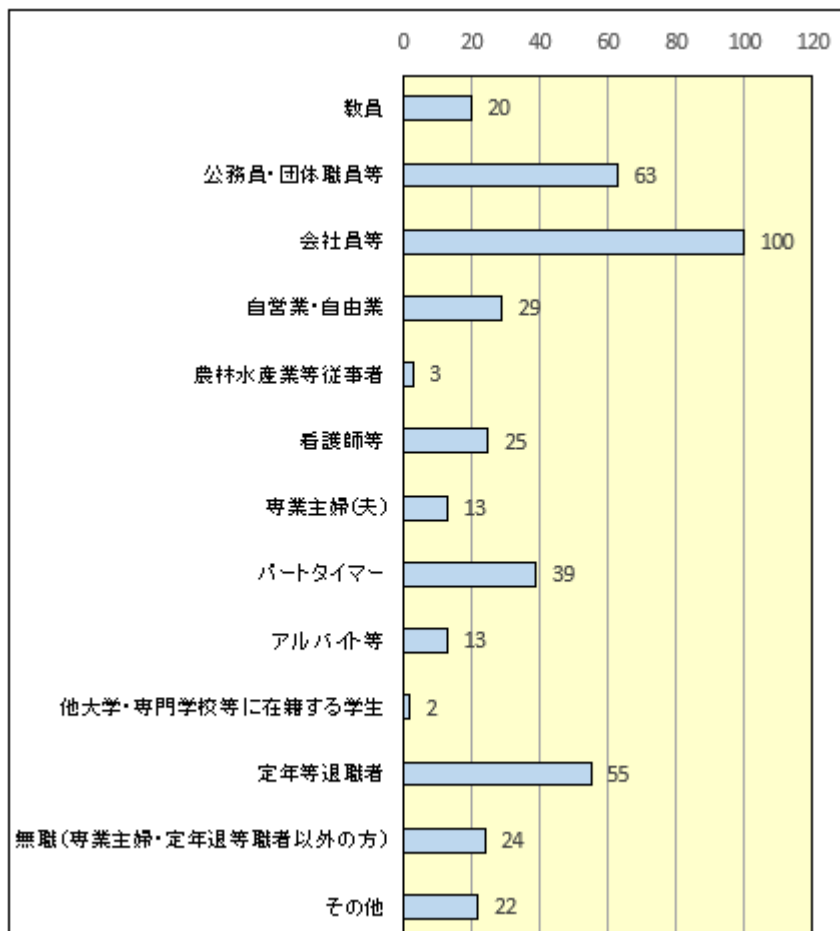
## ■学部・大学院（全科履修生）所属別人数



## ■年齢別・男女別人数



## ■職業別人数





## ■ 単位認定試験について

### 2025 年度第 2 学期単位認定試験

#### 【試験日程】

Web 試験(択一式科目) : 2026 年 1 月 18 日(日)9:00 ~ 1 月 26 日(月)17:00

Web 試験(記述式・併用式科目) : 2026 年 1 月 18 日(日)9:00 ~ 1 月 22 日(木)17:00

郵送試験(すべての出題形式) : 2026 年 1 月 18 日(日) ~ 1 月 22 日(木)《必着》

※郵送試験の科目は「行政学講説('24)」、「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」の 4 科目です。

### Web 試験について

◆試験はシステム WAKABA へログインして受験します。

◆1 科目 50 分の制限時間があります。(試験期間中いつでも受験可)

ご自宅等で受験をする場合は、試験期間中であれば都合の良い時間を選んで試験を受けることができます。ご自宅等での受験が難しい場合は、学習センターにて学習センターのパソコンを使用して試験を受けることができます。その場合は原則、『授業科目案内』に記載の試験日・時限での受験となります。

◆解答を開始すると、50 分のカウントダウンが進み始めます。受験は 1 回のみ、カウントダウンを止めることはできません。集中できる環境を整えてから受験しましょう。

◆解答の途中で 50 分経過した場合、その途中までの解答が自動的に提出されます。

◆なお、個人の操作ミスや機器トラブル・通信環境の不備により受験に支障が生じた場合について、救済措置はされません。必ず操作体験・動作確認をお願いします。操作や受験環境に不安がある場合は、学習センターでの受験をご相談ください。

★学習センターでの受験には申請が必要です！希望される方で申請がまだの方は、早急に福井学習センターへご連絡ください。

### 新入生の方および初めて Web 受験をされる方へ

◆システム WAKABA にログインがまだの方は、早めにログインをしてみましょう！

◆しばらくログインされていない方は、ID およびパスワードの再確認をしましょう！

◆Web 単位認定試験システムの体験版の操作をしてみましょう！



単位認定試験期間前までに、必ず体験版を操作しておいてください。操作する際、試験当日に使用する予定の端末を使いましょう。体験版は、システム WAKABA の学内リンクより『Web 単位認定試験』をクリック→科目一覧の『Web 単位認定試験体験版』をクリックして開始します。

## ■ 次学期の出願、科目登録手続きについて

1月中旬に放送大学本部より科目登録申請要項や継続入学関連書類等、次学期に向けての重要な書類が送付されますので、内容をご確認のうえ、忘れずに手続きを行ってください。

※集団入学又は共済組合を利用して入学された方には継続入学関連書類は送付されません。大学本部又は福井学習センターまでお問い合わせください。

※出願・手続きの際は、『学生生活の葉』を参考にしてください。

### 2026年4月以降も学籍が続く学生

- 全科履修生（卒業見込みの方、在学期間満了となる方を除く）
- 修士全科生
- 2025年10月入学の選科履修生・修士選科生

### 2026年3月で学籍が切れる学生

- 2026年3月で卒業見込みまたは在学期間満了となる全科履修生
- 2025年4月入学の選科履修生・修士選科生
- 科目履修生・修士科目生

### ◆科目登録申請◆

#### 郵送

「科目登録申請票」を郵送

2月13日(金)～2月27日(金)【必着】

#### システムWAKABA

「教務情報」の「科目登録申請」から手続き

2月13日(金)9時～2月28日(土)24時

- 面接授業の科目登録も併せて行ってください。優先順位を決めて登録してください。定員を上回る申請があった場合は抽選となります。
- 今学期 通信指導未提出・不合格の方、または単位認定試験が不合格の方は科目登録を行わなくても再試験を受験できます。
- 登録申請後、科目登録決定通知と払込取扱票が約2週間～1か月で届きます。

### ◆継続入学の出願◆

#### 郵送

「出願票」を郵送

11月26日(水)～3月16日(月)【必着】

#### システムWAKABA

「教務情報」の「継続入学申請」から手続き

11月26日(水)9時～3月16日(月)17時

- 次学期に再試験のみ希望される場合も、継続入学の手続きが必要です。
- 2026年度第1学期に面接授業・ライブ Web 授業の登録申請を希望する方  
科目登録期間中(2/13 9時～2/27 24時)に募集要項6～7頁参照の上、システムWAKABAにて登録を行ってください。
- 選考結果通知と払込取扱票が約2週間程度で届きます。



## ■ 2026年度 第1学期 面接授業について

### 2026年度第1学期 面接授業・ライブWeb授業 開講日時等

#### 【2026-1 面接授業日程】

(日程順)

担当講師	科 目 名	日 程	受講定員
青山 義弘	新・初歩からのパソコン	4月18日(土)・19日(日)	10
大西 将史	心理学実験2 <span>BYOD</span>	4月18日(土)・19日(日)	20
深澤 有吾	からだの作りと働き(組織学) ※会場は両日とも福井大学松岡キャンパス	4月25日(土)・26日(日)	30
湊 七雄	ペン画入門	4月25日(土)・26日(日)	20
野坂 佳生	法的な見方・考え方の基礎・基本	5月9日(土)・10日(日)	30
門井 直哉	日本人と富士山 ※2日目は巡検でバス移動	5月9日(土)・10日(日)	20
波田野 茂幸	臨床心理学演習	5月16日(土)・17日(日)	20
小高 知宏	Pythonプログラミング入門 <span>BYOD</span>	5月23日(土)・24日(日)	20
戸ヶ里 泰典	健康生成論とストレス対処力	5月30日(土)・31日(日)	30
浅井 純子	英語で算数・理科・社会を学ぼう	6月6日(土)・7日(日)	20
木村 亮	経済のグローバル化ー歴史と現状	6月13日(土)・14日(日)	20
安倍 博	心と行動の科学3	6月20日(土)・21日(日)	20
小野田 信春	グラスマン代数入門	6月27日(土)・28日(日)	30
岸 俊行	心理学実験3 <span>BYOD</span>	7月4日(土)・5日(日)	20

#### 【2026-1 ライブWeb授業日程】 予定なし



【授業時間帯】 各日1～4時限  
 1時限 9:30～11:00  
 2時限 11:10～12:40  
 3時限 13:30～15:00  
 4時限 15:10～16:40



## ■ 第2学期面接授業レポート



10月25日(土)・26日(日)  
『人生が愉しくなる落語学12』  
春風亭 昇吉 先生



落語を通じて、日本の伝統や話芸の奥深さを楽しみながら、人生をより豊かにする視点を得ることを目的とした授業が行われました。受講生は、講師が演じる迫力ある生の落語を聴き、その演目に関連する語彙・文化・習慣などの背景知識を学びました。

### 【受講生からの感想】

- ・各回後のアンケートや直接話を訊く等で受講生との対話があったのが良かった。そのおかげで能動的に受講できた。面接授業というかたちでの全8席の独演会へ行ったような気分です。
- ・落語の構成や落語会のシステムを(少しだが)理解できた。今後、より楽しく落語が聞けそうである。
- ・はじめて生で落語をきいて感動です。一人で演じているのに人物や景色が見えました。
- ・受講の聞きたいこと、知りたいことに対して、誠実に説明していただいた。
- ・授業の始まりや終わりに、いつもの落語会のように一番太鼓などがかかり、演出が凝っていて、落語の世界に入りやすかったと思います。



11月15日(土)・16日(日)  
『デザイン思考で地域課題を考える』  
竹本 拓治 先生



デザイン思考は「正解のない課題」に挑む力を養う手法との考えのもと、受講生はデザイン思考の基本概念とプロセスを学び、地域課題の発見と解決に取り組みました。フィールドワークでは福井駅周辺の地域課題を探索し、チームで協働しながら積極的に現場を観察し、対話を行いました。最後にはチームごとにアイデアをまとめて発表し、地域社会への関心を深めるとともに、まちづくりや社会課題解決についての提案を行いました。

### 【受講生からの感想】

- ・地域課題についての取り組み方がわかった。
- ・問題提起からプレゼンテーションまでの一連の流れを通して学べたことが良かった。
- ・豊富なグループワークとフィールドワークで非常に深く学ぶことができました。
- ・外へ出て現地の確認、情報収集を行う等も新鮮で良かった。
- ・実際にグループでの演習によって活用できるような講義だった。
- ・理論と実践の両論で実践的に理解できました。
- ・大変ではあったが、知見・センス・技能を有意に高める事ができた。



# 放送大学福井学習センター 公開講演会

日 時： 令和7年10月5日(日) 13:30～15:30

場 所： アオッサ7階 706/707

講 師： 友田 明美氏 福井大学子どもこころの発達研究センター教授

コーディネーター： 安倍 博氏 福井大学高等教育推進センター特命教授、福井学習センター客員教員

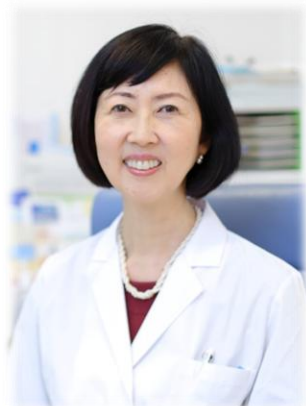
## 早期発見が未来を拓く！『特性？障害？誤解？』を超えた自閉症支援 ～避けたい子育てマルトリートメントと神経多様性研究の最前線～

ヒトの発達には遺伝的要因だけでなく環境的要因も極めて重要です。身体的虐待や心理的虐待、ネグレクトをはじめ大人から子どもへのマル(悪い)トリートメント(扱い)が脳に悪影響を与え、生涯にわたって個人の身体・精神の健康を損ない、寿命にまで影響を及ぼすことがわかってきました。

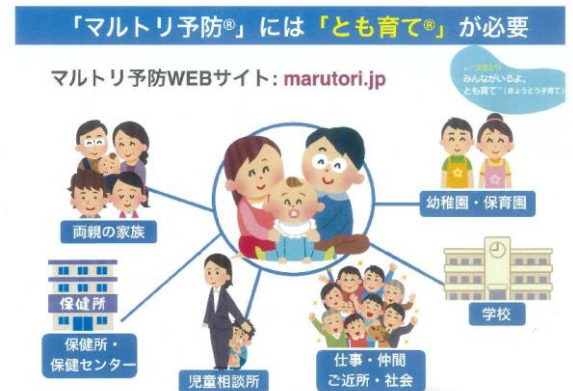
また、子どもは生まれてから5歳頃までに、親や養育者との間に強い絆(アタッチメント=愛着)を形成し、これによって得られた安心感や信頼を足がかりにし、認知力や豊かな感情を育てていくという成長過程をたどります。しかし、マルトリートメントによって脳が傷つくと、行動面・精神面に愛着障害と呼ばれる様々な障害が生じるようになります。

それでは、傷ついた脳は回復が可能でしょうか？回復のためにはどのような支援が必要でしょうか？そのためにはまずマルトリの現場から子どもたちを引き離すこと、さらには、ヒトはそれぞれ脳の発達に違いがあることを十分理解して、褒め育てることで回復に導かれることを学びました。

講演では、マルトリの予防には、両親だけでなくその家族、幼稚園・保育園・学校、行政、ご近所など社会全体で子どもたちを育て「とも育て」の大切さが強調され、参加者はそれぞれの立場で、子どもたちや養育者への関わり方について考えを深めました。



友田明美先生



安倍 博先生

### <参加された方々の感想(抜粋)>

- ・ 次の世代を担う子どもたちのために「とも育て」が必要であると感じた。
- ・ 根気よく「褒め育て」を続け、自分自身が第三者としての安全基地になることができるよう、これからも放送大学学生として、心理学の専門的知識を身に着けたいと強く感じた。
- ・ 子だけでなく、親も一人にならないことが大事だと感じた。
- ・ 根っこのところは深いケースではあっても、共に育てる思いで寄り添っていきたいと思った。

# 放送大学福井学習センター 公開シンポジウム

## 恐竜発掘の 舞台裏

— 研究者たちの挑戦と発見 —

日時：令和7年10月11日(土) 13:00~15:50

場所：アオッサ7階 706/707

講師：関谷 透 氏 福井県立恐竜博物館主任研究員

築地 祐太 氏 福井県立恐竜博物館研究員

高津 翔平 氏 岐阜県博物館学芸員

静谷 あてな 氏 福井県立恐竜博物館研究員

多田 誠之郎 氏 東京大学総合研究博物館特任助教

コーディネーター

河部 壮一郎 氏 放送大学福井学習センター客員教員

福井県立大学恐竜学部教授

恐竜化石の発掘・調査や研究、博物館での展示や教育普及に関するシンポジウムを開催しました。第1部では、福井県勝山市北谷町や中国浙江省の発掘現場でのエピソードや岐阜県内の恐竜発掘とその他の地域との連携についての解説を、第2部では特別展の開催準備など魅力溢れる展示に向けた工夫やCT スキャンなどを用いることによって解明されつつある研究成果などの解説を行いました。総合討論では、付箋に書かれたたくさんの質問に対し、各講師がひとつひとつ丁寧に回答し県内外からの参加者は、これまで聴けなかった発掘現場の舞台裏に接してさらに恐竜への関心を深めました。



関谷 透先生  
勝山市北谷町での  
発掘調査とその成果



築地祐太先生  
中国浙江省での  
恐竜化石発掘調査



高津翔平先生  
岐阜県内の恐竜発掘と  
地域との連携



静谷あてな先生  
恐竜博物館の展示と  
教育普及



多田誠之郎先生  
恐竜の生きざまを知る：  
大学での古生物研究の例



河部壮一郎先生  
コーディネーター

### <参加された方々の感想>

- ・ 実際に関わっている方の生の話が聞けたのが良かったです。
- ・ 研究者の皆さんがとても楽しそうにお話しされていて、好きなことをやり続けているのはステキだなと思いました。
- ・ 多様な面で研究者の熱い解説を聞かせていただき、恐竜についての学びを深めさせてもらったように思います。
- ・ プログラム構成が1部：発掘、2部：展示・研究とわかりやすく、難しい内容の話でも理解しやすい工夫がされていて良かったです。
- ・ 特に第2部の話はほかで聴ける機会も少なく感じるので、今回聴くことができて良かったです。
- ・ 今現在、存在しない古生物の発掘・研究について、研究者の方たちの生の声が聴けて興味深い内容だった。先生方の熱い思いが伝わってきた。



# 令和7年度 学生研修旅行レポート

学生研修旅行に行ってきました！

お天気にも恵まれ充実した一日となりました

## 11月12日(水)

### 国宝「瑞龍寺」と 能作「鋳物づくり」体験の旅



#### ◆ 国宝「瑞龍寺」 【散策】 ◆

ボランティアガイドさんの説明をいただきながら  
「江戸初期の禅宗寺院建築の傑作」と評された寺院  
を拝観しました。

秋晴れと紅葉を背景にした瑞龍寺はとても美しく、  
寺院の壮大さと神聖な空気を感じました。



檜材の仏殿、経年とともに艶が増します  
壁板は、蟻一匹入る隙間もないのだそう  
棟梁の思いが詰まっていた

檜材：反り暴れる木材といわれており  
10年寝かし建築に使われた



よく通る声で流暢な説明を語って  
下さるボランティアガイドさんは、  
御年88歳！ガイド歴30年！  
この一期一会にも学びがありました



#### 参加された方のアンケートより

##### ◆感想・ご意見◆ (一部抜粋)

- 天気に恵まれ、美しい景色や紅葉を楽しめリフレッシュできた。  
瑞龍寺は度々訪れたことがあるが、今回は人も少なく歴史的な建物を堪能することができて良かった。
- 錫の箸受けを作る事ができて良かったです。キラキラして華やかさがあって嬉しいです。
- 研修旅行に初めて参加させて頂きました。瑞龍寺と鋳物づくりの体験ができ大変満足しています。
- 今回も天気に恵まれ本当に楽しい研修旅行でした。次回まで元気に過ごし是非参加したいです。
- 和気あいあいとした楽しい研修旅行をさせていただき、ありがとうございました。  
その模様を俳句・川柳にしたためました。

##### ◆今後行ってみたい場所・体験したい事柄等◆

- 《方面》 関ヶ原、金沢、山陰、岐阜、奈良、京都
- 《場所》 砂丘、足立美術館、航空博物館、天橋立
- 《体験》 陶芸、乗馬、紙漉き、墨流し、染め、工芸品作り、大寺院の懐石料理

- ◆参加の動機 「体験に興味がある・学生の交流」が過半数(66%)の回答でした。

参加者皆様のご協力で有意義な楽しい旅行となりました。ありがとうございました。

#### ◆ 和風会館ふかまつ 【昼食】 ◆

砺波市大門地域に江戸時代から伝わる「大門素麺」や、富山の旬な食材の日本料理を堪能しました。



#### ◆ 能作「鋳物づくり」 【体験学習】 ◆

鋳物生産において国内トップシェアの富山県高岡市で、工場見学と鋳物づくり(箸置き)「生型鋳造法」を体験しました。



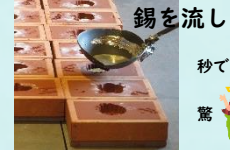
磨き行程見学



砂の押し固め



型を外す



錫を流し入れる

砂で固まります！

驚

瑞龍寺を深々と参拝して 小春日や 古偈ぶ 瑞龍寺  
ふかまつで楽しい昼食を 学び旅 仲間の笑顔 たなばたも  
鋳物づくり てんやわんやの体験を 年の功 指は踊れど 目はうつろ

お読みいただきありがとうございます。  
ご紹介させていただきます。





## ■ 2026年 1月～3月のスケジュール

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

～5日……………年末年始閉所【12/28～】

18日～26日…第2学期単位認定試験

Web試験(択一式科目):1月18日(日)9:00～1月26日(月)17:00

Web試験(記述式・併用式科目):1月18日(日)9:00～1月22日(木)17:00

郵送試験(すべての出題形式):1月18日(日)～1月22日(木)《必着》

10日・11日…【面接授業】「新説 恐竜学」

パネル展(アオッサ1F)・オープンキャンパス

23日～25日…パネル展(福井県立図書館1F)

2 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

1日……………【公開講演会】

「子どもの幸福の法律問題」ー赤ちゃんポストは正義に合う?ー

13日～27日…2026年度第1学期科目登録申請 ※ 郵送《必着》

13日～28日… // ※ Web申請《24:00まで》

21日……………【公開講演会】

「古代中国の政治思想ー性善?性悪?徳治?法治?ー」

27日……………第1回2026年度4月入学出願締切《必着》

雑誌・バックナンバー等  
無料配付

期 間:1月31日(土)～2月8日(日) 場 所:福井学習センター 図書・視聴学習室内

※ 2/2(月)は除く

無くなり次第終了とさせていただきます


3 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

16日……………第2回2026年度4月入学出願締切《必着》

20日……………本部主催 学位記授与式(会場:ベルサール高田馬場)

22日……………2025年度第2学期学位記授与式(会場:福井学習センター)

2026年度第1学期入学者の集い(会場:福井学習センター)

24日・25日…  図書・視聴学習室は新学期準備の為閉室  
(福井学習センターは開所)

 閉所日  単位認定試験期間  面接授業

### 2026年度第1学期入学生を募集しています！

【第1回出願期間】2025年11月26日(水)～2026年2月27日(金)24時

【第2回出願期間】2026年2月28日(土)～2026年3月16日(月)17時

★学生募集要項は、ご希望の方には郵送もいたします。

★個別相談も随時行っていますので、お気軽にお電話ください。

### ご友人・お知り合いをご紹介ください！

福井学習センターでは、学生さんを通して、ご友人・お知り合いの方に放送大学を知っていただき、自分なりの学びと向き合っていただきたいと願っております。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひともご紹介ください。ご紹介いただきました方が1年以内に福井学習センター所属学生として新規入学された場合には、紹介者様(原則、福井学習センター所属学生)へ図書カード(1,000円分)を贈呈させていただく予定です。詳しくは当センターまでご連絡ください。

★学部科目履修生、大学院修士科目生は対象外とします。

★過去に在籍期間がある方については対象外となります。

 放送大学 福井学習センター

〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1 AOSSA7F

TEL: 0776-22-6361 FAX: 0776-22-6431

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukui>



利用時間(月曜・祝日は閉所)

(火～金) 9:30～18:00

(土・日) 9:00～17:30

### 臨時閉所時の周知方法について

以下に示す状況等の影響で臨時閉所となる場合、福井学習センターウェブサイトに掲載します。来所の際には事前にご確認願います。

①福井市に気象等の特別警報または警報(波浪・高潮を除く)が発表され、公共交通機関に重大な影響がおよぶ場合

②地震及び停電等不測の事態が発生し、当学習センターの業務を正常に行えない場合

